

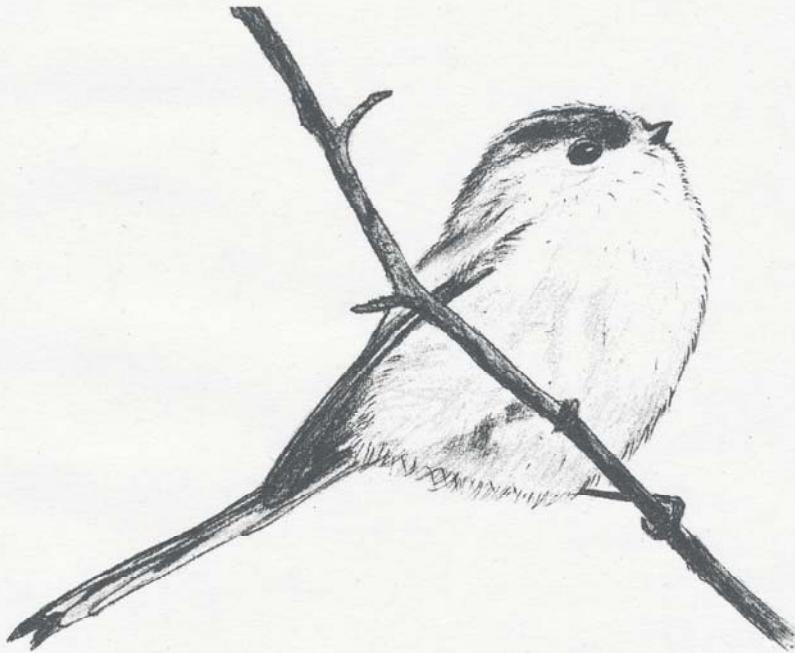
仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 231

仙台市太白山自然観察の森 のおくりもの

2010年 11月号

エナガ（エナガ科）



イラスト：咲間 奏（元レンジャー）

霜月、観察路を歩いていると、あちこちで木々の葉っぱが風も無いのに落ちる音がするようになりました。今年は県内のあちこちでクマが出没し、太白山でも9月の初めに目撃されました。その後の目撃情報はありませんが、山の恵みが少ないせいなのか、個体数が増えすぎたせいなのか、はたまた別の原因でなのが悩ましいところです。

（武智）

小さな猛禽 モズ

皆さん、秋の林の縁や公園などで、鋭い声で騒々しく「キー、キィキィ」と鳴いている鳥の声を聞いたことがありますか？この声、モズという鳥がなぜか秋になると鳴くもので、「高鳴き」と呼ばれています。今回は、このモズの「高鳴き」についてご紹介します。

【モズ(モズ科)】



二段の鉤形のくちばしで
獲物をとらえます。

モズの早贊
(はやにえ)

モズは、獲物を枝やトゲに刺す『はやにえ』という習性が有名な鳥です。秋になると、オスもメスも騒々しく「高鳴き」をします。一般に日本で繁殖する野鳥が、求愛やなわばり宣言で盛んにさえずる時期は、春～夏の巣作りの時期と言われ、ほとんどの野鳥はオスが鳴きます。それにも関わらず、なぜモズは、秋にオスもメスも「高鳴き」をするのでしょうか？

モズの繁殖は一夫一妻制で開始時期がとても早いことで知られています。だいたい2月頃からさえずりが聞かれ、メスがオスのなわばりに入るとオスが求愛し、メスがオスを気に入れば番（つがい）になります。しかし、巣作り、子育てを行い、子が巣立つ秋になると、食べ物があまりない冬の時期を前に、この番（つがい）は解消されてしまいます。そして、それが自分のなわばりをもち、そのなわばりを守るため、オスもメスも激しく「高鳴き」をするのです。また、オスのなわばりは、メスがオスを選択する際の重要な要素となっているため、秋の「高鳴き」は、春にメスを獲得するための第一関門ともなっているようです。

皆さんの身近にいるモズはどんな風に「高鳴き」をしていますか？なわばりをめぐる熾烈な闘いをぜひ聞いてみてください。【文・イラスト：咲間】

クイズ？

【もんだい】 次の漢字はなんと読むでしょうか？3つとも答えてね。

Ⓐ 檜鳥

Ⓑ 常鶲

Ⓒ 百舌

【答えは、最後のページ 写】

11月の生物ごよみ

(過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

野鳥

モズの高鳴き

ジョウビタキ

ルリビタキ

キクイタダキ

アオジ

カケスがドングリを食べにくる

10月

下旬

上旬

11月

中旬

下旬

12月

上旬



今年の秋はキノコが大豊作でした。いつもと比べると発生が遅かったのですが今までにないくらいたくさんのおいしいキノコに出会うことができました。ウラベニホテイシメジ、アカモミタケ、サクラシメジなどなど。しかし知識のないまま食べると食中毒も多いのでわからないキノコは絶対に食べないようにしましょう。

(観察センター内はキノコの採集禁止です。)

キノコの大豊作とは反対にドングリは大不作のようです。昨年はドングリを踏んで転んでしまうほどの大豊作だったのに・・・。

やはり今年の暑さが影響したのでしょうか。

野鳥の訪れには影響があるかはわかりませんが、ジョウビタキはすでに上陸しているようです。そのほか11月も中旬になればぞくぞくと冬鳥がやってきます。12月からはセンターのバードテーブルも開店しますので楽しみにお待ちください。

【文・イラスト：斎】

お知らせ

～昨年8月より勤務しておりました咲間奏が
10月末で退職しました～

昨年の8月、初めて訪れた観察の森。駐車場から一歩園内に入ると、別世界のような自然豊かな森に驚きました。初めて見る花やかわいい鳥たち、たまに会えるリスやカモシカ、今まで苦手だった、虫やカエルやヘビなど、様々な生きものたちと出会うことができました。この1年を振り返ると、私の人生の中で一番自然に触れ、向き合った1年となりました。また、多くの方々と出会い、暖かいご指導をいただきました。

今後は立場は変わりますが、子供たちや誰かのお役に立てるよう活動を続け、この森や皆様からお教えいただいたことを活かしていきたいと思っております。1年と2ヶ月、本当にありがとうございました。ありがとうございました☆



みんなで自然観察

やってみよう！
クモの実験！



秋も深まると、金色に輝くクモの巣（網）にとまっている、巨大なメスのジョロウグモの姿が目だってきます。自然観察センターの周りでは、この他、ナガコガネグモ、イシサワオニグモ、クサグモ、ジグモなど、様々なタイプの網を張るクモを観察することができます。また、夜しか見ることができませんが、オオトリノフンダマシの網もなかなかユニークです。そんなわけで、ガイドウォークでもクモについて解説することが多くなってきます。ご存知の方も多いと思いますが、クモの網に振動する音叉を触れさせると、その振動を察知したクモが、獲物がかかったのだと思い襲いかかってくるという実験があります。これを実演するため、斎レンジャーと咲間レンジャー（まるちゃん）は、自分の音叉を持っています。クモ好きで知られる青葉の森の半澤レンジャーも、当然持っています。こうなると、音叉はレンジャーの必需品のような気がしてきました。私も音叉がほしい！と思ったのですが、貰う前に、何か代わりに使えそうなものを探してみました。それが、ピンセットです。ピンセットの接合部の端をつまみ、もう片方の手で先端を密着させたところから勢いよく放すと、ピンセットが振動します。その先端をクモの網に触れさせると、思った通り、クモが襲いかかってきました。これを実際にやってみたのは、10月1日の太白小2年生の総合学習でガイドをしたときが初めてでした。予想通りにうまくいき、子供たちも、みんな喜んでくれました。観察記録にクモの絵を描いてくれたり、クモについての質問をしてくれる子供もいて、私も大満足でした。

【文・イラスト：林】

まだ試していないけど、電動ハブラシやシェイバーも使えるかも？

森のこえ 『2009年スズメバチ騒動記』



青景区 遊佐 悟

5月25日 最近、家の近くでスズメバチが飛び回っているのをよく見かけると思っていたら、家の外壁に巣を作っているのを見つけた。この下でプランターを並べて野菜作りを始めたのだ。どうしたら安全に出て行ってもらうことができるだろうか。

5月27日 巣を一度たたき落としたが、また作り直していた。

5月28日 黒いおわん状のものができていた。巣の土台になるどころか、昨日より大きくなっている。できあがるまで写真を撮って観察を続けたいという気がしてきたが…。

5月30日 巣が大きくなってきた。今まで陰になっていたのが二階の物干し場のすぐ前に姿を現した。センターに来て話を聞き、「害虫スズメバチ」のことを本で調べてみた。巣を除いたりするのは、活動が鈍くなっている寒い日でハチが留守のときと書いてあった。スズメバチ用のスプレーの殺虫剤があるそうだ。うまく命中しなくて逆に刺激してしまったらどうなるのだろうと余計なことを考えてしまう。

5月31日 外出から戻ったら巣が見当たらない。今朝、妻がバイクのヘルメットと手袋をつけてたたき落としたとのこと。ハチはいなかつたというが最初によく確かめたわけではないようだ。それに今朝はあまり寒くはなかった。ヘルメットの中に飛び込んだらと思うとぞっとする。本のコピーを見せていたのだからもっと慎重になってほしい。

6月8日 また同じところに巣を作っていたが、すぐにたたき落としたと妻が言う。無謀。

6月9日 また来て巣作りを始めた。本には、一度壊すと危険を感じて二度と同じところでは作らないと書いてあった。よほどここが気に入ったのか。いつまでこんなことが続くのだろうか。しかし今回は元気がない。

6月10日 巣作りはあまりはかどっていない。東北南部梅雨入り。

6月11日 朝から雨。プランターにピーマンの花が咲き始めた。その頭上でしつこく巣作りを続けているが動きが弱弱しい。

6月16日 今日は、これまでのように時々いなくなったりせず、午前中から夕方までずっといる。死んでしまいそうなくらい動きが悪い。最後の執念を燃やしているのか。

以後姿を見せなくなった。多分体力を使い果たして死んでしまったのだろう。それともどこか別の目に付かないところで…（ということはなかった）。





11月の催し



「紅葉の鈎取山ウォッチング」

自然観察をしながら、鈎取山国有林を歩きます。

11月13日(土)
10:00~15:00

【講 師】佐藤 康也 氏
(森林植物研究家)
【持ち物】観察用具、雨具など
【定 員】20名

申し込み⇒ 7日9時から電話にて



「ガイドウォーク」

11月のテーマは『森と野鳥たち』です
(毎週日曜日)

7. 14. 21. 28.

午前の部 → 10:00~11:30

午後の部 → 13:30~15:00

★申し込み不要です

自然観察センター前にお集まりください。

クイスのことえ

- A 檜鳥(カケス)
- B 常鶲(ジョウビタキ)
- C 百舌(モズ)



ちなみに、百舌(モズ)の名は、ウグイスやヒバリ、ホオジロなど、他の鳥の鳴きまねを入れてさえずることからついたと言われています。

他にも読めない漢字の野鳥の名前も沢山あって、調べてみるとおもしろいですよ♪

【咲間】

休館日

1日、8日、15日、22日、29日、



宮城交通バス

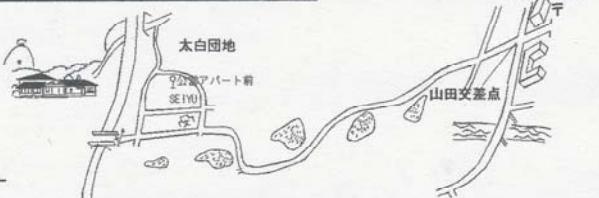
仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年11月号(毎月1回5日発行)

発行: (財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

*仙台市からのお知らせ:「キッズ百年の杜」のURLにガイドウォークの1年のように載っています。→ <http://www.kids-100forest.jp/>